_	->,,1,*11	ヽゖ゙			位米が口な(が口の本がな)						区公、【轮十版】 / / 八股、						₩₩₩₩					
ナンバリング			授業科目名(科目の英文名) 家庭科授業論								区分・【新主題】/(分野)						授業形式					
-				科授業論 actical Teaching Theory of Home Economic)							対面											
ETIZMUUZ (FTACTI			(гтас	ilical leaci	ing meory or	HOME LCC	niomic)															
۰,	, (42) 18 4 17			14.55	224 ±0	224 HD	ann 60	<u> </u>		7.0/U.L./T.D7.7-7-7			+m vi	T7 4P								
必修選択		単	位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語			担当	形態								
必修					教育学部																	
		,	2	3	令和2年度		火3	日本語					海数	供同	١							
		'	_	0	以降入学生用	<u> </u>	//	LTH LTH					IS XX	() < -]	,							
担	氏名	財津庸子、都甲由紀子																				
当																						
教																						
	E-mail	財津	∄ : vza	aitsu@oita-	loita-u.ac.jp,都甲:togo-uykiko@oita-u.ac.jp 内線 財津:7601																	
																宝鬼						
授業	中子校 的に学		ᢖᢖ᠘	の叙目天白	育実習における授業の改善案作成、家庭科の実践例の収集・分析に基づき、教材研究を行い、模擬授業を通してよりよい授業のあり方について実践 																	
の	ם אוכ 🛨	/3/°																				
概																						
要																						
具体	的な到	達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7					
			道法 (中)をふま	え 具体的に中	学校・高	等学校の家庭	科の授業を構想する。														
				<u>-) とぶぬ</u> を収集し ,		J 12 14	(3) 1/20/3/1/2	門の政策と開心ノる。							\neg							
											+			-	\dashv							
				教材研究を							-											
目	標4 構	想した技	受業の	模擬授業を	する。						-				-							
目	標5														_							
目	標6																					
目	標7																i					
目	標8																					
	標9														\neg							
											╁			\dashv	一							
<u> </u>	標10						4 - 001				╂		_	-	\dashv	-						
							各DPへの関連	退度(計10)			7		3									
	の内容																					
				の授業の構	成要素																	
2	教育実	習の指導	算案改	善の検討1																		
3	教育実	習の指導	算案改	善の検討2																		
4	中学校の	の実践の	列の分	·析																		
5	高等学	交の実践	き例の	分析																		
				<u>パパ</u> の分析と発	 表																	
	中学校の			1077J1/II C 76	1.8																	
	高等学																					
				食生活・住	生活																	
10	教材開	発:家族	医・家	庭生活																		
11	教材開	発:消費	貴生活	と環境																		
12	中学校の	の模擬指	受業																			
13	高等学	交の模擬	疑授業																			
	個人テ																					
	授業づ																					
	ア A:知					- ト・ライ	′ティング ホ		-		Moodl	ംഗ∺	(田 (フナ	==	/\	ァ					
ラー		見の表			っ、」 いっ , レハ\-	. 71	, , , , , 1	ᄉᇪᆺᄉᄌ	 	ィスプレイク,動画の石舟, ノケート,小テスト)	OUGIEVIAM (JA - JA , F											
=	F 0.2			《揆						7 1 , 3.9 2(1)												
ン	1 U:N	用志向							他の													
グ	╯┃D: 知	識の活	用・創				a —															
				事前	に提供された資	料等に基	ついて予習す	る(15h)。														
		準	備学	修																		
授業時間外																						
学修の内容				授業	授業中に課された課題に取り組む(15h)。授業中に指示をした実習に取り組む(15h)。																	
と想定時間			後学		=		, 0															
		→	·饭子1																			
			時間																			
教科書							, ,	N978-4304021541														
		文部科学省 高等学校学習指導要領解説 家庭編(2018)ISBN978-4877304195 中学校 技術・家庭 家庭分野 開隆堂(2021)ISBN978-4304081019																				
		伊藤葉子編著「新版 授業力UP 家庭科の授業」日本標準(2018)ISBN978-4820806462																				
		乗本秀	樹著「	著「家庭科に学ぶ生活論と教育論」家政教育社(2002)ISBN978-4760603398																		
参考書		小・中	中・高をつなげる試み 大分県の家庭科実践事例集 教育図書 (2008) ISBN978-4877302313																			
		お茶の	水女子	² 大学附属学	校家庭科研究会	著「作る	手が子どもた	こちを輝かす アクティブラ	ーニングカ	「育てる これからの家庭科」 [」]	也域教	材社	(20	17)								
		お茶の水女子大学附属学校家庭科研究会著「作る手が子どもたちを輝かす アクティブラーニングが育てる これからの家庭科」地域教材社(2017) その他、実践事例集やワークブック等																				

.—															
	評価方法				目標										
成	評1川力	1個方法				3	4	5	6	7	8	9	10		
績評	レポー	F	50%												
価	指導案	・模擬授業	30%												
o o	Moodle	のフォーラムでのコメンント	10%												
方法	教材研	究の成果物	10%												
及															
び															
評															
価															
割合	上記の評価項目を総合的に判断して評価する。														
-															
	教材研究や実習に向けた取り組みの中で,必要な物品や時間外学習については自分で準備等整えること。														
注	意事項														
		この科目は『地域創生教育科目』です。													
	備考	取り扱う内容の順番が状況によって入れ替わることがある。													
		実習をともなう教材研究の場合、自己負担が生じることがある。													
Ι.	12.6														
Ľ	Jンク 	URL													
担	当教員の														
実	8経験の														
有無															
教員の実務 中・高家庭科教諭経験(財津庸子,都甲由紀子)															
経験 中・高多姓件教訓経験(財津庸士,郁中田紀士)															
実務経験を															
いかした教実際の教育現場における指導経験や専門的知識・技能を、学校教育現場の理解に基づく指導のあり方や指導案等に活かす。															
育内容															